

キャラクター名  
対刃 進 (ついで しん)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン	ワークス	情報屋	カヴァー	浮浪児
	ハヌマーン		年齢	12歳	性別
オプション					
覚醒	探求	衝動	恐怖	初期侵食率	31 %
出自	孤児	経験		邂逅	あまのじゃく

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	0	3			5	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	2	1	0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	3		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ	白兵	5r+2		2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
🗡️:UGN幹部	
🗡️:手配屋	
🗡️:情報者	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
対刃 進 (自分)	P 好奇心	N 不安		
クロウ (カラス)	P 友情	N 侮蔑		
シュ・ニン	P 好奇心	N 不信感		
翼 さくら	P 庇護	N 侮蔑		
明智 薫	P 好奇心	N 脅威		
横瀬 力也	P 誠意	N 不信感		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
スピードフォース	1	4	インシアブ	至近	自身	自動	ピュア	
効果: <->インシアブにマインを行える シリウスSL回								
疾風剣	1	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: <白兵>相手のリアクション-SL個								
コンセントレイト:ハヌマーン	1	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: <シンドローム>クリティカル-SL								
疾風迅雷	1	3	Xジャー	-	-	対決	ピュア	
効果: <シンドローム>シリウスSL ドリッジ 不可								
浸透撃	1	2	Xジャー	武器	単体	対決	-	
効果: <白兵><射撃>シリウスSL ガード 不可								
音速攻撃	1	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: <白兵><射撃>攻撃+SLD								
アクロバット	1	2	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果: <回避>ドリッジ +SLD								
吠え猛る爪	2	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: <白兵><射撃> 攻撃-3 装甲無視								
蝙蝠の耳	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: <->自身の聴覚領域を拡大								
無音の空間	★	-	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果: <->自身の気配を消し去る								
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: <->すさまじく身軽								

「教えて欲しいんだ?じゃあ、いくら出す?」「それは単なる噂だからね、タダにしといてあげるよ」

情報を仕入れ、それを売りさばくことで生計を立てている少年。幼い頃に両親が病死し、それ以来一人で生きてきた。公園のドーム型遊具の中で寝泊まりすることが多い。情報屋というアンダーグラウンドな仕事をしているのはあくまで生きるためであり、また子供である自分はそのほかに生きるすべが無いと思っている。

オーヴァードとして目覚めてからは、異常発達した聴力とスピードを武器にさらなる情報集めにいそんでいる。故人ではあるが恩のある人間がいるため、人間を虐げようとする組織を嫌っている。

性格は狡猾で冷静沈着。年齢の割に金にがめつく商魂たくましい。儲け話とくれば法に触れることであろうとあっさり乗ってくる。情報を手に入れるためには手段を選ばず、盗みや不法侵入、かわいごぶりっ子はお手の物。ただし、暴行や人殺し、カツアゲ等はしない主義。犯罪をものともしないが根はお人よしで、本当に困っている人を見ると素直になれないながらも手を貸さずにはいられない。

基本的にドライで冷酷、人を馬鹿にしたような態度を崩さないが、カラスのクロウなど信頼できる人物の前では、本来の子供っぽい姿を見せることがある。